

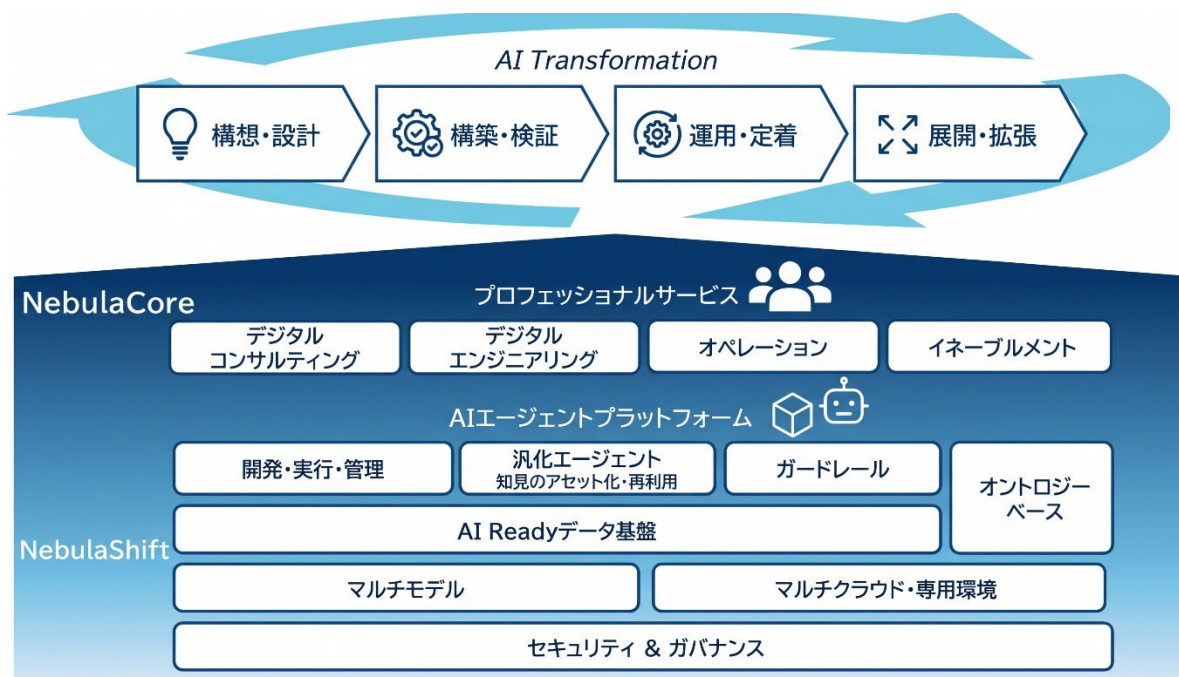
2026 年 10 月 19 日

SCSK株式会社

AI エージェント活用による企業変革を支援する「NebulaCore」をリリース

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、中期経営計画で打ち出した「Next Dimension 2030～次元の異なる IT カンパニーへの進化～」のもと、AI を活用したサービスやソリューションをより強力に市場へ展開し、お客様へ一貫した価値を提供する「AX Enabler」への進化を掲げております。その中核をなす取り組みとして、企業の AI 活用と業務変革を推進するサービス「NebulaCore(ネビュラコア)」の提供を 2026 年 10 月 19 日より開始します。

NebulaCore は、AI エージェントの開発から実行・管理までを統制のとれた仕組みで支え、セキュリティ・ガバナンスを確保した安全な AI エージェント活用を実現します。企業における AI 活用のハードルを大幅に下げ、実効性のある AX の実現と、継続的な企業価値向上に貢献します。



1. 背景

生成 AI や AI エージェントなどの先端技術の進展に伴い、企業におけるデジタル変革への期待が高まっています。一方で、多くの企業において、AI 活用は以下の課題に直面しています。

- ・ ガバナンスおよびセキュリティを担保できず、基幹業務や高度な業務プロセスへの適用に踏み切れない
- ・ AI エージェントの開発・運用ノウハウが特定部門内に閉じることで、類似エージェントの重複開発が生じる
- ・ 個別の業務効率化にとどまり、全社展開に至らない

これらの課題は、AI エージェントを安全に開発し、統制下で実行し、組織の資産として蓄積する仕組みの不在に起因するものです。これらを業務の中核に据えるには、安全な実行環境と統一的な管理・開発体制が不可欠とな

ります。

SCSKはこれらの課題を解決するため、安全な開発・実行・管理を可能にするシステム環境と、上流の構想策定から定着までを支えるプロフェッショナルサービスを統合し、全社 AX を成功へ導く仕組みとして「NebulaCore」を提供します。

2. NebulaCoreが実現すること

本サービスは、次の 3 つの価値を掛け合わせることで、AI エージェント活用を一過性の取り組みではなく、お客様の持続的な成長と競争力を支える経営基盤として機能させます。

① AI エージェントとの協働による、新たな業務プロセス構築と価値創出

様々な現場のベストプラクティスが反映された AI エージェントは、お客様にとって新たなデジタルワークフォースとなります。NebulaCore は、人と AI が協働するこれからの環境変化にも柔軟に対応し、新たな業務プロセスの構築や事業価値の創出を支えます。SCSKは、デジタルコンサルティングおよびエンジニアリングサービスを通じてお客様の現場に寄り添い、構想策定から AI 前提の業務モデル構築、現場定着、新事業の立ち上げまでを共に推進します。お客様がこれまで培ってきた強みや業務ノウハウに、デジタルアセットの力を新たに掛け合わせることで、より高度な業務革新や新たな市場価値の創出に大きく貢献します。

② 統制のとれたセキュアな AI エージェント利用環境

NebulaCore のプラットフォームは当社の IT インフラ構築・運用のベストプラクティスを結集した技術体系「NebulaShift(ネビュラシフト)※」の上に構築されており、エンタープライズグレードの AI ガバナンスおよびセキュリティ機能を標準で装備しています。開発時の品質評価やデータ保護、実行時の認証・権限管理や意図しない挙動を防ぐガードレール制御、管理運用時の判断プロセスやログの監査・記録など、各フェーズで必要な統制がシームレスに機能します。これによりお客様は、高度な安全対策を個別にゼロから設計・実装することなく、導入した時点からエンタープライズ水準の信頼性を確保し、重要プロセスへの AI 適用を安心して推進できます。

※NebulaShift について <https://www.scsk.jp/sp/nebulashift-tech/>

③ ベストプラクティスの全社資産化と再利用

AI 活用を全社成果につなげるには、個人や特定部門内で閉じていたベストプラクティスを組織全体の「共有資産」として蓄積・活用することが不可欠です。NebulaCore は「エージェントライブラリ」を通じて、現場で検証されたベストプラクティスや知見を組織横断で安全に共有・再利用できる仕組みを提供します。当社提供の標準エージェント群と組み合わせることで、他部署での類似エージェントの重複開発や無駄な投資を解消します。全社での共有・再利用が進むほど、企業全体のデジタルアセットが拡充され、AI 活用の品質と投資効率が継続的に向上します。

NebulaCore の詳細は、以下 URL にてご確認ください。

<https://www.scsk.jp/sp/nebulacore/>

3. 今後の展開

NebulaCore は、当社およびグループ内での社内実践(カスタマーゼロ)を通じてエージェントライブラリの品質向上を図りながら、NebulaShift をはじめとする当社サービス群と連携し、以下の方向性で提供ケイパビリティを順次拡張してまいります。

■業種別・業務特化型テンプレートの提供

製造・流通・金融など、各業界固有の業務に対応するエージェントセットを順次拡充し、業界特有のデータやプロセスに即した AI 活用を迅速化します。

■基幹システム連携と自律協働環境(Agent to Agent)の実現

CRM/SFA や ERP などの基幹システムとの連携を深めるとともに、複数エージェントが相互に連携して高度な業務を自律遂行する「Agent to Agent(A2A)」環境の構築を進めます。

あわせてガバナンス・セキュリティ機能を継続強化し、エンタープライズ環境において常に安心・安全かつ先進的な AI 活用環境を実現してまいります。

なお、2026 年 10 月に開催予定の Google Cloud 関連イベントにおいて、本サービスの活用事例や今後の展望に関する講演を予定しています。

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」「安心・安全な社会の提供」に資するものです。

- セキュリティ・ガバナンスを確保したプラットフォームの提供により、安全で信頼性の高い AI 活用を実現
- お客様の業務変革(AX)を推進し、持続的な成長と競争力の向上、新たな価値創出に貢献
- ・SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

知財・SX事業管掌 AX事業本部 AXストラテジー部

E-mail: NebulaCore-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 竹澤

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。